

第【2】学年 教科【社会】 担当【 】

1 学習目標

- (1)日本を中心に、近代（19世紀）までの各時代について、その時代の特徴と、歴史的展開を、基本的歴史用語と史料の活用を踏まえ、批判的に考察・理解し、説明することが出来る。
- (2)日本の国土の成り立ち、地形、気候、植生などについて学び、地域の特徴を把握できるようにし、様々な自然条件のもとで生きる人々の暮らしについて理解することができる。
- (3)世界の自然と日本の自然を比較しながら学ぶことで、私たちの暮らしの特徴を深く考察し、理解することができる。

2 使用教科書・教材

- (1)教科書「中学社会 歴史 未来をひらく」(教育出版)
- (2)教科書「中学生の地理 世界の姿と日本の国土」(帝国書院)
- (3)副教材「中学校社会科地図」(帝国書院)
- (4)副教材「地理の完全学習2」(正進社)
- (5)副教材「歴史の完全学習2・3」(正進社)

3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
1学期（4～7月）	・日本の地域的特色・近世の日本と世界	・日本の山、川、気候、自然災害、人口、エネルギー、産業、交通網、通信網・結びつく世界、天下統一への歩み、幕藩体制の確立と鎖国
2学期（8～12月）	・日本の諸地域 ・近世の日本と世界 ・日本の近代化と国際社会	・九州地方・中国四国地方・近畿地方・中部地方・経済の成長と幕政の改革・近代世界の確立とアジア・開国と幕府政治の終わり・明治維新
3学期（1～3月）	・日本の諸地域 ・日本の近代化と国際社会	・関東地方・東北地方・北海道地方 ・明治維新と立憲国家の歩み

4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	- 世界と日本の地域構成を大観するために必要な概念を理解し、身に付けている。 - 様々な資料から、世界と日本の地域構成についての情報を適切に読み取っている。 - 日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信に関する特色とそれに基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。 - 日本の各地方の地域的特色や地域の課題を理解している。 - 各地方の考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる地域の課題を理解している。 - 近世の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 - 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。	- 定期考査 - 単元テスト - ワークシート
	る様々な情報を効果的に調べまとめ、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。	

思考・判断・表現	- 世界と日本の地域構成の特色を，文章や略地図などで適切に表現している。 - 日本の自然環境，人口，資源・エネルギーと産業，交通・通信による地域区分を，地域の共通点や差異，分布の傾向性などに着目し，比較したり関連付けたりして考察し，その結果を表現している。 - 日本の諸地域において，各地方の考察の仕方で扱う中核となる事象の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 - 交易の広がりとその影響，統一政権の諸政策の目的，産業の発達と文化の担い手の変化，社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して，事象を相互に関連づけるなどして，近世の社会の変化のようすを多面的・多角的に考察し，表現している。 - 近世の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 - 欧米諸国における工業化の進展と政治や社会の変化と影響などに着目して，事象を相互に関連づけるなどして，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを多面的・多角的に考察し，表現している。	- 定期考査 - 単元テスト - ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	- 世界と日本の地域構成に対する関心を高め，身に付けた概念を今後の学習に生かそうとしている。 - 日本の自然環境，人口，資源・エネルギーと産業，交通・通信に関する特色と，それらによる地域区分に関心をもち，日本の地域的特色を意欲的に追究するとともに，それらに関わる課題を解決しようとしている。 - 日本の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる地域の課題を主体的に追究しようとしている。 - 資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して，近世の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 - 近世の日本の学習をふり返りながら自身の学びを確認，調整しようとするとともに，近世の時代の特色は何かを主体的に追究しようとしている。 - 資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して，近代（前半）の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。	- ワークシートの記述内容 - 授業中のようす - 定期考査の振り返りレポートの記述内容 - 問題集の取り組み内容